

近年、日本の社会では、少子高齢化、核家族化のさらなる進行、女性の社会進出、経済のグローバル化、ITによる情報化など社会環境の変化が加速し、家族のあり方や親子関係を含めた子どもの成育環境に大きな変化が起こっています。このような状況のなかで、わたくしどもベネッセ教育総合研究所は、妊娠出産期、乳幼児から大学生・社会人まで、またその保護者、教師、幼稚園や保育所、学校など幅広い範囲を対象によりよい生活や教育のあり方を追究することを目的として調査研究を行っております。

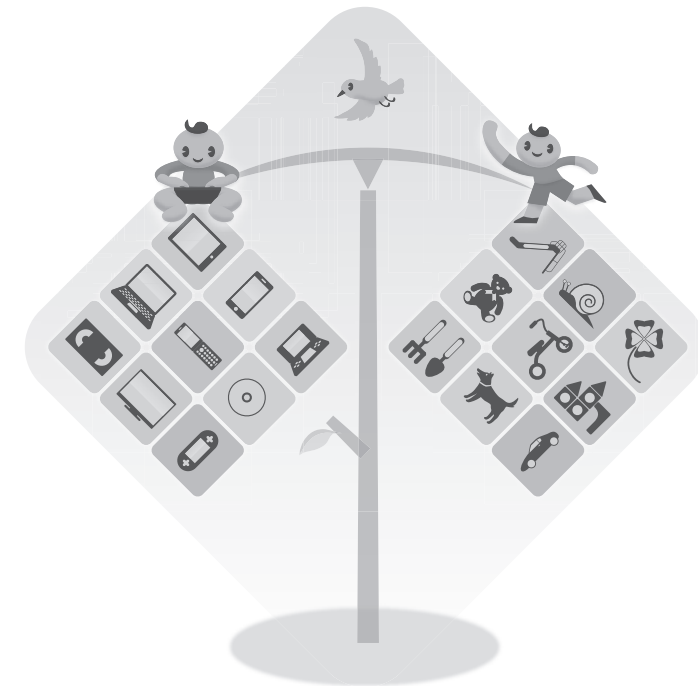
さて、このたびご報告いたします「乳幼児の親子のメディア活用調査」は、乳幼児期の親子のメディア活用の実態と意識をとらえることを目的に実施いたしました。メディアに関する調査のため、インターネット調査でなく、郵送による大規模アンケートとなっております。調査は2013年3月に行い、3,234人の保護者の皆様にご回答をいただきました。家事や子育て、仕事に忙しいなか、質問項目にお答えくださった方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回の調査結果には、0歳6か月～6歳までの子どもをもつ保護者のメディア活用の実態と意識や、乳幼児にそれをどう使わせているのかについてのデータが数多く入っています。調査で浮かびあがった現状を踏まえ、親子が新しいメディアと上手に付き合っていくための基礎資料となっています。子育て中の保護者の方々、幼児教育・保育にかかわっておられる先生方、研究者、子育てや教育にかかわる支援・行政に携わるの方々などに幅広くご活用いただければ幸いです。

2014年3月

ベネッセ教育総合研究所
所長 谷山和成

第1回

乳幼児の親子の
メディア活用調査
報告書

ベネッセ教育総合研究所

目次

本調査の特徴	4
調査概要	5
基本属性	6

序章

乳幼児の親子のメディア活用調査をふりかえって

子どもの育ち、子育てと新しいメディア	汐見 稔幸	10
小児医学、小児神経学の観点から	榊原 洋一	12
子どもの発達と親子のかかわりの観点から	菅原 ますみ	14

第1章 乳幼児のメディア利用の実態

第1節 家庭のメディア所有状況	田村 徳子	18
第2節 子どもの1週間のメディア活用状況	田村 徳子	22
第3節 一日あたりの活動時間	高岡 純子	26
第4節 平日に家庭で使う時間帯	高岡 純子	32
第5節 メディアを活用する場面	田村 徳子	36
第6節 アプリ・ソフトの使用時間、内容、選択基準	田村 徳子	40
第7節 友だちとのかかわり	田村 徳子	50
第8節 メディアを使い始めた時期	田村 徳子	54

第2章 保護者のかかわり

第1節 親子でのメディアのルール、フィルタリング	佐藤 朝美	58
第2節 ルールの参考、ママ友との話題	佐藤 朝美	62
第3節 メディアへの抵抗感、気がかり	佐藤 朝美	64
第4節 アプリ・ソフトへの意識	佐藤 朝美	66

第3章 保護者自身のメディアとの接し方

第1節 母親のメディア行動 (1)メディア使用時間と利用率	駒谷 真美	70
第2節 母親のメディア行動 (2)ママ友との連絡手段	駒谷 真美	76
第3節 母親のメディア行動 (3)WEBサイト・SNSの子育て利用	駒谷 真美	80
第4節 母親のメディア意識 (1)メディアに対する親和性と依存性	駒谷 真美	86
第5節 母親のメディア意識 (2)家庭のメディアルール	駒谷 真美	90

資料編	93
調査票見本	94
調査企画・分析メンバー、アドバイザー一覧	110

本調査の特徴



ベネッセ教育総合研究所では、「小さな子どもとメディア」について多角的に考えようという主旨で2007年に研究会を立ち上げ、発達心理学や小児医学などの専門家が集まり、研究・討議を進めてきた。エビデンスベーストな考察と討議を活動の基本として、国内外の関連文献や先行事例を収集・分析し、子育て支援の立場から、乳幼児の保護者のメディア視聴や活用の現状を探る調査を行っている。これまでの活動についてはWEBサイト「小さな子どもとメディア」で発信をしている。

本調査は、この数年でスマートフォンやタブレット端末などが急速に普及し、生活するうえで欠かせないものになってきていることを受けて、乳幼児の生活におけるメディア利用の実態、保護者の意識と実態をとらえることを目的に実施した。

本調査の特徴は以下のようにまとめられる。

1. 乳幼児のいる家庭におけるメディア利用の実態を幅広く把握することができる

テレビ番組やビデオ・DVDに加え、スマートフォンやタブレット端末、据え置き型ゲーム機、携帯型ゲーム機などのメディアについて、家庭における所有率や乳幼児がみたり使ったりするアプリ・ソフトの内容など、乳幼児とその家族のメディア利用における基本的な実態を幅広く把握できるようにしている。

2. 乳幼児の年齢による違いを把握することができる

今回の調査は、0歳6か月から6歳就学前までの乳幼児をもつ保護者を対象としている。乳幼児の生活におけるさまざまなメディア利用の様子や保護者のかかわりの実態と意識が、乳幼児の年齢によって、どのように違うのかを把握することができる。

3. 乳幼児の保護者自身のメディアとの接し方をとらえることができる

乳幼児をもつ保護者自身が、子育ての中でメディアとどのように接しているのか、また年代によってどのように違うのかを把握し、乳幼児とメディアとのかかわりについて、多面的にとらえられるよう配慮している。

調査概要



1. 調査テーマ

乳幼児期の親子のメディア活用に関する実態と意識

2. 調査方法

郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

3. 調査時期

2013年3月

4. 調査対象

第1子で0歳6か月～6歳就学前までの乳幼児をもつ保護者 3,234人
(配布数 10,010通 有効回収率 32.3%)

5. 調査地域

東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

6. サンプル数

(人)						
0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児
569	521	436	448	438	421	401

7. 調査項目

家庭でのメディア所有状況／子どもの1週間のメディアの使用頻度・時間・時間帯／アプリ・ソフトの使用状況／親子で決めているメディアのルール／保護者による子どものメディア使用やアプリ・ソフトへの意識／保護者自身のメディア使用状況／地域とのつきあい／子育て意識など。

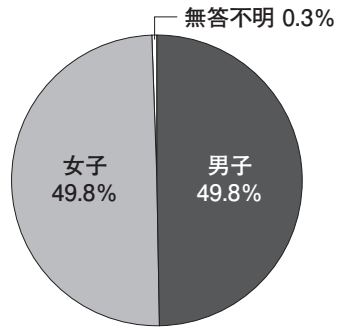
本報告書を読む際の注意点

- ・本報告書では、母親のみを分析対象とした。
- ・本報告書で使用している百分比(%)は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。

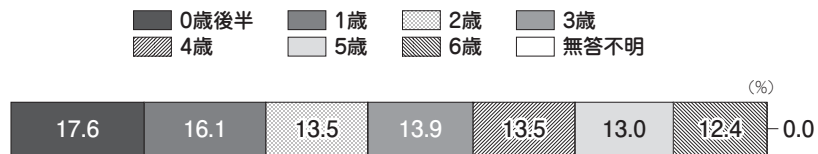
基本属性

A 子どもの属性

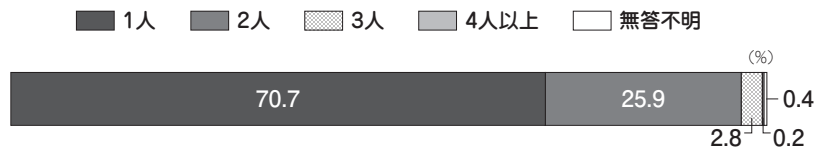
図A-1 性別



図A-2 年齢



図A-3 きょうだい数

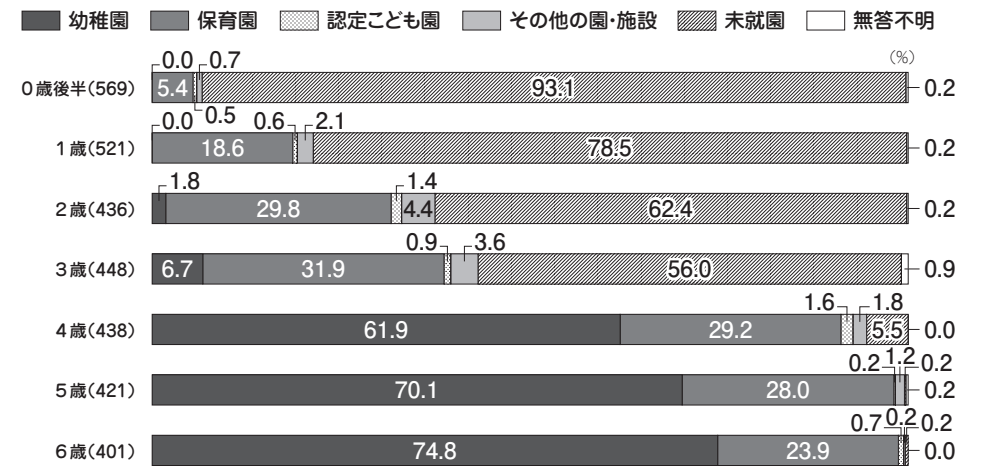


図A-4 出生順位



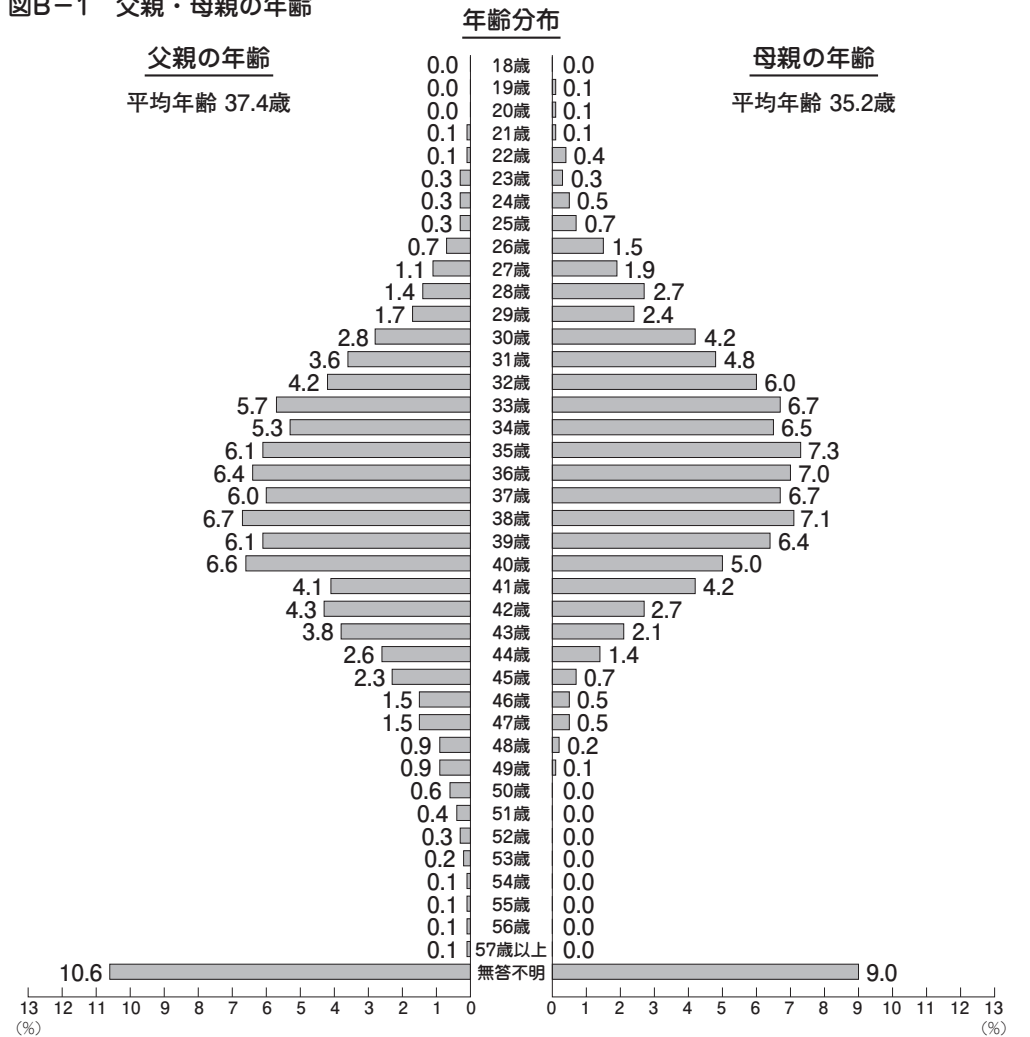
注) メディアとの接触状況やルールの有無にきょうだいの影響を除くため、可能な限り、第1子について回答してもらうよう依頼した。

図A-5 就園状況



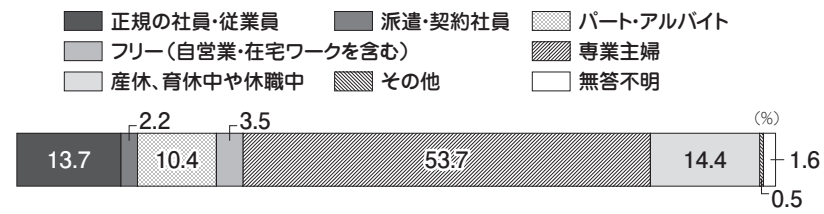
B 保護者の属性

図B-1 父親・母親の年齢

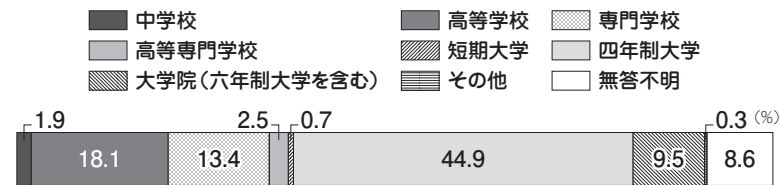


注) 平均年齢について、無答不明の人は分析から除外している。

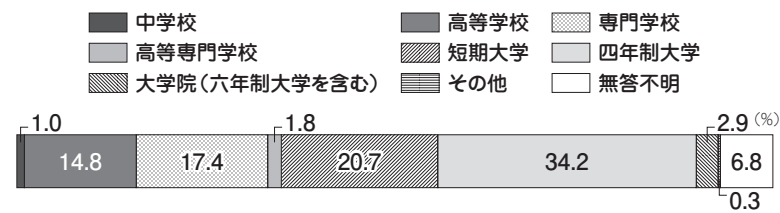
図B-2 母親の就業状況



図B-3 父親の最終学歴

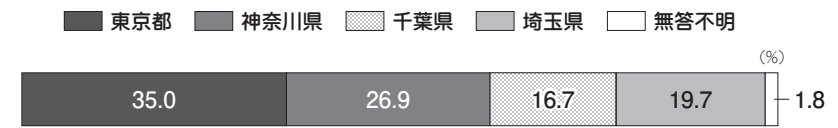


図B-4 母親の最終学歴

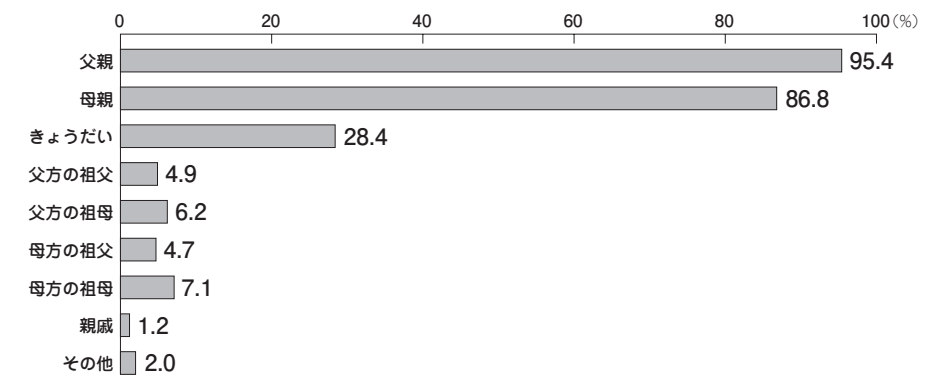


C その他

図C-1 居住地



図C-2 同居家族



注) 複数回答。

図C-3 世帯年収

